

THE STORY OF AVANT

1997年5月、株式会社アバントの前身である株式会社ディーバが、東京都大田区大森で産声をあげた。ディーバは、現アバント代表である森川が、理想の会社を目指して同志数名と創業した会社だ。

森川は、創業一族がリードする「プライベートカンパニー」ではなく、真のパブリックカンパニーを目指していた。会社・組織は、短期的な成果よりも顧客に対する長期的な貢献を果たすことで、持続的な発展成長を追求でき、そこで働く社員全員もハッピーと感じる。そうした環境づくりに経営の最大の力を置くことこそが、森川が父から教わった生きた経営哲学だ。それが「100年企業の創造」という企業ビジョンに結実されたのであった。

日本ではディーバ創業前後から国際的に遜色ない会計制度として、連結会計制度の導入が検討されていた。そこで森川は財務情報を中心にあらゆる企業活動の情報公開を可能とする環境を整えることで、新たな時代における企業経営の品質（倫理）と生産性の向上に貢献するため「経営情報の大衆化」というミッションを掲げ、独自のソフトウェア開発に着手した。ディーバを設立する以前、森川は大手外資系コンサルティング会社にて、数多くの大手企業を担当した。その経験から、世界に通用するサービス品質を転写した、日本発のソフトウェア製品を開発することが、先輩達が築き上げた日本ブランドを次世代に引き継ぐことへつながると確信していたのである。それがディーバを成長させる原動力となった。

そして、1997年に「DivaSystem」をリリース。これは、連結決算・連結グループ管理に関する各種業務を途切れることなくスムーズに統合し、決算の早期化、業務効率化、制度・管理連結の統合を実現したものであった。その後、様々な顧客ニーズに対応したバージョンアップを重ね、累計販売実績 800 社超（2013年12月末時点）の、国内シェア NO.1*を達成。こうして「DivaSystem」を中心にディーバはグループ企業として大きく発展してきたのである。

更に、2013年10月、企業経営の品質と価値向上に貢献することのできる「プロフェッショナルサービスの大衆化」を本格的に推進するため、持株会社体制へ移行。社名も事業会社を牽引できるように「前へ」という意味の「en avant」から「株式会社アバント」へ。事業会社ごとに権限と責任を明確にするとともに、より多くの顧客に対して様々な専門性の高いサービスを提供していき、企業価値の向上に役立てる体制を一層強化した。

アバントは、新たなスキームのもとで今後成長が期待されるCPM (Corporate Performance Management) 市場など、顧客により貢献していくため、新たな事業領域の拡大も進めている。刻一刻と変化する事業環境に対応していくことで、顧客および従業員の双方が持続的にハッピーになれる「100年企業の創造」に向けて、今後も更なる成長を目指していく。

(※出典：富士キメラ総研 ソフトウェアビジネス新市場 2013年版)

■ 表紙

ニューヨーク

全米で最も高いワンワールドトレードセンタービルが完成予定の2014年、アバントグループは全米へ本格的に進出し、世界を目指します。



GO GLOBAL

AVANT NEWS

第18期 報告書

2013/7/1 - 2014/6/30

「DIVA」から「AVANT」へ

弊社は2013年10月1日をもちまして社名を「AVANT」と改称し、持株会社制へ移行いたしましたのでご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

理念

「プロフェッショナルサービスの大衆化」を通して企業社会の発展に貢献する。

- すべての企業に専門性や深い経験が求められる領域のプロフェッショナルサービスをハイクオリティ&ローコストで提供する。
- ITの駆使、人財の育成と教育、および新たな方法論の導入によりサービス生産性を世界最高水準まで高め、サービス事業をイノベーションする。
- 多様性と専門性を両立させるグループ経営を実践し、たくさんのエッジの効いたブランド企業による企業連合を実現する。

ビジョン

「100年企業の創造」
100年後も持続発展可能な価値創造に「全員が燃える」
クリエイティブな世界企業を創る

「世界に通用するITベンチャーを造る」

迅速性 20%成長
柔軟性 連結経営
独自性 領域特化



取締役
川本 一郎

代表取締役社長
森川 徹治

取締役
春日 尚義

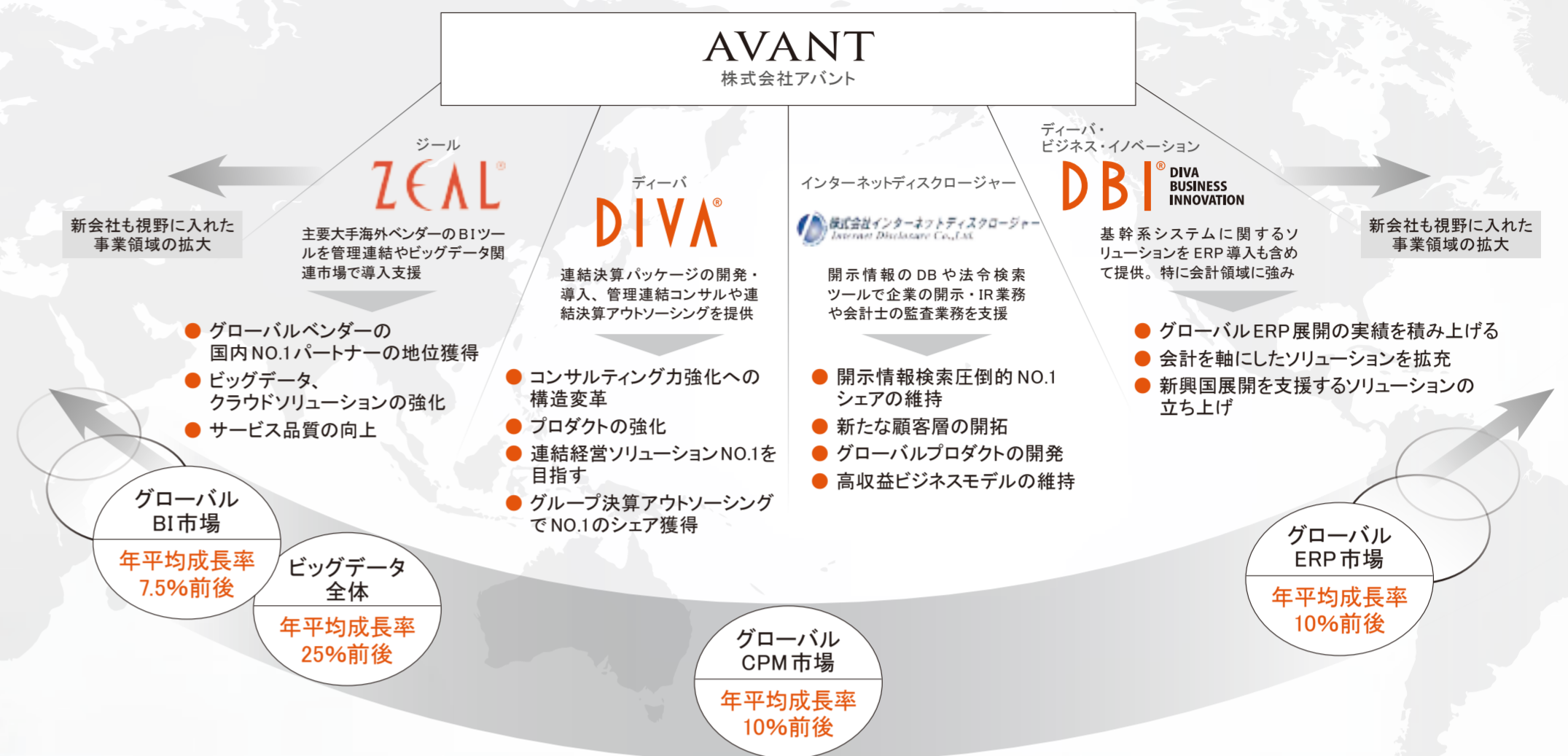
社外取締役
福谷 尚久

社外取締役
ジョルジュ ウジュー

1 成長性 拡大する事業領域

高度な専門性を求められる業務領域で各事業ブランドを築き上げてきたアバントグループ各社は、今後お客様のニーズに応えることで、事業機会の拡大につなげていきます。

市場の成長率：Gartner、IDC、Forbes および Wikibon の予想成長率を基に当社で推定。



2 安定性 強固な顧客基盤、安定した業績

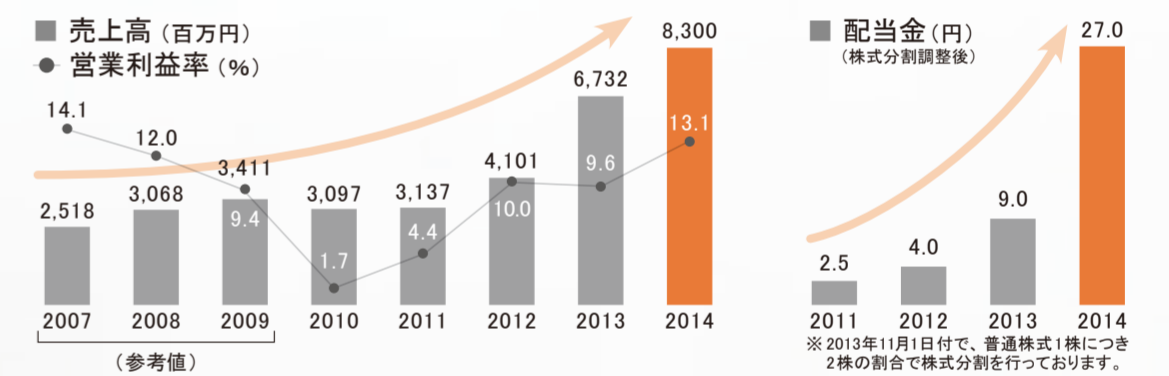
顧客基盤 (DivaSystem)

東証一部
上場企業4社中
1社が顧客

ユーザー
継続率
約90%

業績の推移

※2009年11月に株式会社インターネットディスクロージャーの株式を取得したため、2010年6月期より連結決算を実施しております。従って2009年6月期以前の実績は個別業績の数値を参考値として掲載しております。



トップメッセージ

当期の概況 (2014年6月期)

■ 中期経営計画2期目として順調に推移

2014年6月期の当社グループの連結業績は、売上高83億円(前期比23.3%増)、営業利益10.8億円(同68.2%増)、経常利益10.7億円(同71.6%増)、当期純利益6.2億円(同71.8%増)と、大幅な増収増益となりました。これはグループ各社が、それぞれ特色のある専門性の高いソフトウェア・情報サービスを、お客様のニーズに合わせた多様なソリューションとして提案・提供し、新規の大型案件の成約に結びつけたことによるものです。更に生産性改善、コスト削減にも継続的に取り組み、高収益体質の維持にも努めてきた結果でもあります。

■ 経営のプロ育成を目指した持株会社化

2013年10月、経営資源の最適化と外部環境の変化に柔軟かつ迅速に対応するために持株会社制へと移行しました。これは、グローバル企業にふさわしい経営力と事業力を有するマネジメントチームを育成するためでもあります。2016年6月期以降の成長を牽引するためには、グローバル市場で通用するビジネスモデルを確立することが不可欠と考え、そのための人財を育成し、評価制度を改定して、最もふさわしい体制を整備することができました。

来期の見通し (2015年6月期)

■ 将来の成長原資となる投資活動に注力

現在の中期経営計画の最終年度にあたる2015年6月期においては、依然やや高いハードルではあるものの連結売上高100億円の達成を引き続き目指してまいります。一方、利益については、お陰様で1年前倒しで営業利益10億円以上という目標を達成することができましたので、来期においては、当期までに築いた投資余力を活かして、CPMなど新たな領域への事業展開を加速させ、かつ将来の成長の原動力となる新製品の開発や、「連結会計と連結経営」の課題に対するソリューションの創出、更には持続的成長を支える人的資本の充実と事業効率を一層向上させるためのグループ共通IT基盤の整備などの投資活動に注力してまいります。

■ 市場の成長を追い風に、世界に通用するベンチャー企業へ

当社グループは、世界に通用するITベンチャー企業となるべく、CPM市場を始め、今後、高い成長が見込まれる新たなビジネス領域へ果敢に挑戦し続けることにより、次期中長期計画の最終年度となります2020年度までには、顧客企業数1,000社、ユーザー数100万人の達成を目指してまいります。また、具体的な経営指標として、同年までに売上高250億円以上を目標として掲げている他、EBITDA(償却前営業利益)マージンで20%以上の確保を念頭に、収益性についてもより一層の改善を試みていきます。

株式情報 (2014年6月30日現在)

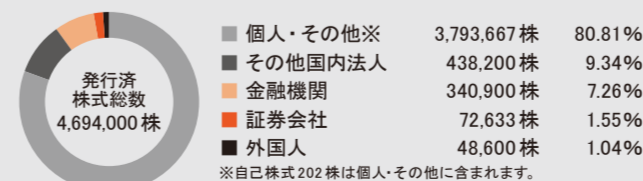
株式の状況
発行可能株式総数 7,788,000株
発行済株式の総数 4,694,000株 (自己株式202株を含む)
株主数 830名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
森川 徹治	1,700,000	36.22
アバント従業員持株会	620,500	13.22
野城 剛	326,800	6.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	311,800	6.64
株式会社オービックビジネスコンサルタント	200,000	4.26
ビー・シー・イー株式会社	194,600	4.15
和田 成史	89,200	1.90
鈴木 邦男	74,900	1.60
森川 敬之	70,000	1.49
小峰 俊之	64,000	1.36

注) 持株比率は自己株式202株を控除して計算しております。

所有別株式分布状況



会社概要 (2014年9月25日現在)

商号 株式会社アバント
住所 東京都港区港南二丁目15番2号
TEL 03-6864-0100 (代表)
FAX 03-6864-0102
設立 1997年5月26日
従業員数 連結477名 単体36名
資本金 2億8,840万円
子会社 株式会社ディーバ
株式会社インターネットディスクロージャー
株式会社ディーバ・ビジネス・イノベーション
株式会社ジール
DIVA CORPORATION OF AMERICA

取締役 代表取締役社長 森川 徹治
取締役 春日 尚義
取締役 川本 一郎
社外取締役 福谷 尚久
社外取締役 ジョルジュ ウジュー

監査役 常勤監査役 野城 剛
社外監査役 鈴木 邦男
社外監査役 小林 正憲

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
基準日	6月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ (グロース)
証券コード	3836
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告により行います。 http://www.avantcorp.com/ir/stocks/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

ホームページのご案内

トップページ
<http://www.avantcorp.com/>

IRページ
<http://www.avantcorp.com/ir/>

